

銘柄分析レポート：私の師匠

1 はじめに

私は、長らくの間、誰にも告げずに株式投資を行ってきました。職場ではもちちんのこと、家族や友人にも内緒でした。

当然ながら、相談できる相手もおらず、誰かに手ほどきを受けたこともありません。株の本が唯一の先生でした。

投資のヒントを求め、仕事を早く切り上げては大阪市内の大きな書店を回るのが、初心者時代の日課でした。『ファンド・マネジャー（ウォーレン・バフェットが紹介されている）』や『ピーター・リンチの株で勝つ』が大のお気に入り、何度も何度も読み返したものです。

ところが、良書といえるのは、欧米の翻訳本ばかり。「う～ん。考え方はよく分かるが、取り上げられているのが外国企業で、どうもピンとこない。日本人の書いた、まともな本はないのか」

そんな悩みを抱えつつ、書店巡りを続けていたところ、一冊の本が目にとまりました。

『いま、この企業に投資しなさい（阿部修平著、ダイヤモンド社、1996年9月出版）』

著者は、日本経済の大変革期において、どういった投資の考え方が必要か、どの企業に投資すべきか、熱弁をふるっていました。

★師匠ファンドのパフォーマンス

